

請 願 文 書 表

受 理 番 号	請 願 第 9 号
件 名	地域住民の健康を守り，ドナーの骨髄提供しやすい社会環境づくりを図る「骨髄バンク・ドナー助成制度」創設を求めることについて
紹 介 議 員	金子益夫，渡辺有子，山田洋子，渡辺和光，小林義昭，佐藤 誠，永井武弘
要 旨	<p>日本骨髄バンクは設立から20年が過ぎ，現在のドナー登録数は40万人を超え，新潟県でも1万人になろうとしています。また，日本骨髄バンクを介した骨髄移植は，毎年1,200件ほど実施されています。</p> <p>一方で，移植希望者の9割に白血球の型（HLA）が適合するドナー候補者が見つかりますが，移植に至るのは6割弱となっており，多くの患者が移植を受けられないまま厳しい闘病生活を強いられています。</p> <p>ドナー候補者が実際に提供するに当たっては，家族や職場の理解と協力が不可欠です。しかしながら，官公庁や大手企業などではドナー休暇制度が整備されているものの，中小企業や自営業者，育児や介護をしている方は，休むことが経済的な負担に直結するなど，簡単には時間をつくれない事情もあります。そこで，このような方々にも経済的な心配がなくドナーになっていただけるよう支援するのが「ドナー助成制度」です。</p> <p>このドナー助成に関しては，先駆けて加茂市が2011年度に「骨髄移植ドナー支援事業」を導入し，今年度からは島根県浜田市，益田市も同様の助成制度を導入しています。県内でも，胎内市が2013年度からの実施を決めているのを初め，聖籠町でも来年度実施に向けて検討されているところです。</p> <p>新潟市では，ドナーが見つからず骨髄移植を受けられないまま残念な結果に終わった患者が幾多とおります。新潟市民の健康を守り，ドナーの骨髄提供しやすい社会環境づくりとして「骨髄バンク・ドナー助成</p> <p style="text-align: right;">（裏面につづく）</p>
付 託 年月日 委員会	平成24年 6 月 18日 市民厚生常任委員会
受 理	平成24年 6 月 12日 第 1 3 5 号

請願第9号

制度」を早急に創設，実施し，骨髄移植の促進，患者の生きる希望に力を入れることが切実に求められています。

以上の趣旨のもとで，下記の事項の実施を請願するものです。

記

- 1 新潟市として「骨髄バンク・ドナー助成制度」を早急に創設すること。